



子どもと森林は、いずれも地域の将来にとって欠かすことのできない宝ものです。



このシンポジウムでは、自然観察、作業体験、木育、クラフト等、お互いを積極的に交わせる取り組みの最前線をご紹介します。



それぞれの健全な成長を促すために、いま何が求められているのか、どのような可能性があるのかを、一緒に考えてみませんか？



国土緑化推進機構「緑と水の森林ファンド」助成シンポジウム

子どもと森のルネサンス

—育てよう 地域の宝もの—

日時

平成
28年

10月1日(土)

開場: 12:30 / 開演: 13:00

場所

東京大学弥生講堂

一条ホール(文京区弥生1-1-1)
地下鉄南北線「東大前」徒歩1分

プログラム

入場無料：どなたでも参加できます(事前申込みをお願いします)。

前半 13:00～15:00

後半 15:15～18:00

13:00 開会の挨拶(シンポジウム実行委員会)
13:15 第1報告: 若杉浩一氏
(パワープレイス株式会社 シニアディレクター)
「都市と地域と子どもをつなぐデザイン
—日本全国スギダラケ倶楽部の活動—」
13:50 第2報告: 井倉洋二氏
(鹿児島大学農学部 准教授)
「体験から学ぶ森と川のパログラム
—演習林における小学校の総合学習—」
14:25 第3報告: 高橋直樹氏
(北海道中川町産業振興課 主任)
「北海道の森の恵みを都会の子どもに」
15:00～15:15 <休憩>

15:15 第4報告: 福田珠子氏
(全国林業研究グループ連絡協議会
女性会議 相談役)
「保育園児への自然労作保育」
15:50 第5報告: 馬場 清氏
(東京おもちゃ美術館 副館長)
「人生の門出を木のおもちゃとともに！
—ウッドスタートで生涯木育を推進—」
16:25 パネルディスカッション
座長 山本信次氏(岩手大学農学部 准教授)
18:00 閉会の挨拶(林業経済研究所)
18:10 懇親会(弥生講堂一条ホールロビー)
お気軽にご参加ください。(会費をいただきます。)

主催

「森林・林業・山村問題を考える」シンポジウム実行委員会

後援

林野庁、(研)森林総合研究所、林業経済学会、(公社)大日本山林会、全国森林組合連合会、(一財)日本森林林業振興会、(一社)全国木材組合連合会、(一社)日本林業経営者協会、(一社)全国林業改良普及協会、(一社)日本森林技術協会、(一社)日本林業土木連合協会、(一財)日本木材総合情報センター、(一財)日本緑化センター、住友林業(株)、(株)日本林業調査会、認定NPO法人自然環境復元協会、全国山村振興連盟、(一財)地球・人間環境フォーラム、(株)農林漁業成長産業化支援機構、全国国有林造林生産業連絡協議会、日本製紙連合会、(一社)農山漁村文化協会、森林インストラクター東京会(順不同)

報告者・座長紹介

若杉浩一(わかすぎ こういち)氏

(パワープレイス株式会社 シニアディレクター)

1959年生まれ熊本県出身。

国立九州芸術工科大学(現九州大学)卒。
内田洋行入社、デザイン、製品企画、知的生産性研究所テクニカルデザインセンターを経て内田洋行のデザイン会社パワープレイス株式会社にてリレーションデザインセンター設立。現在は同部門シニアディレクター。東京芸術大学美術学部非常勤講師。企業の枠やジャンルの枠にこだわらない活動を行う。やりすぎてデザイナーを首になるも性懲りもなく企業と個人、社会の接点を模索している。



スチール家具メーカーなのに何故か、日本全国スギダラケ倶楽部を南雲勝志氏と設立。

ドイツIF賞、DESIGNPLUS特別賞受賞。全国都市再生まちづくり会議2007にて、2007年度まちづくり大賞をスギダラケ倶楽部にて受賞。

井倉洋二(いのくら ようじ)氏

(鹿児島大学農学部 准教授)

1959年生まれ福岡県出身。

九州大学大学院農学研究科博士課程終了。大学の森を活用した森林環境教育と、地域と連携した自然学校の活動に取り組む。持続可能な農山村社会の創出を目指した自然学校ムーブメントの可能性を探り、農山村を舞台に新たな仕事を開拓する。

チャレンジングな若者を育成する(そそのかす)ことを仕事としている。



高橋直樹(たかはし なおき)氏

(北海道中川町産業振興課 主任)

1979年生まれ北海道出身。

北海学園大学卒。中川町職員、2008年から町林務担当になる。2010年北海道北部の森林・林業を考える研究グループ NFM(north forest meeting)を設立。

最近の仕事のテーマは、森林ICTを活用した科学的な森林経営、旭川家具や建築会社と連携したサプライチェーンマネジメント、森とデザインを融合させた未利用材・低質材を含んだ木材ブランディングなど。「少なく売って、高く売り、長く使ってもらう林業」を標榜している。



福田珠子(ふくだ たまこ)氏

(全国林業研究グループ連絡協議会 女性会議 相談役)



1944年生まれ東京都出身。

玉川大学卒。保育園経営。保育園の子どもたちに森林を媒体として自然労作保育を行う。

フォレスト・ガーディアン制度を活用し幼児保育とともに都市部の女性、小学生に森林体験を通して森林の恵み、働きなどを紹介し、五感を通じて2つのソウゾウ「想像と創造」をめぐらせ心身ともに豊かな人間になることの手助けをしている。



馬場 清(ばば きよし)氏

(東京おもちゃ美術館 副館長)

1963年生まれ東京都出身。

一橋大学社会学部卒。中学校・高校教諭、浦和短期大学福祉科専任講師(社会福祉学、福祉文化論等)、浦和大学准教授を経て、認定NPO法人日本グッド・トイ委員会事務局長および現職。木育に関する林野庁補助事業を、2010年度から7年連続で受託し、責任者として飛び回る。

全国各地の自治体、企業、保育園等と連携して誕生祝い品を地産地消の木製玩具にする事業や、商業施設、子育て支援センターなど乳幼児が利用する空間に地域材を活用する空間構築支援の取り組みなどを「ウッドスタート」という名称で進めている。



山本信次(やまもと しんじ)氏

(岩手大学農学部 准教授)

1968年生まれ東京都出身。

専門は林政学、自然資源管理ガバナンス論。東京農業大学副手、岩手大学農学部助手を経て現職。森林管理への市民参加・合意形成、都市と山村の交流、再生可能エネルギー利用に基づく地域活性化を研究。大学演習林を利用した都市住民と森林・林業をつなぐ活動に関わっている。



会場地図



どなたでもお気軽にご参加ください

「森林・林業・山村問題を考える」シンポジウム 実行委員会

土屋 俊幸 / 飯沼 佐代子 / 大塚 生美 / 永田 信 /
平野 悠一郎 / 安村 直樹 / 山本 美穂
会場・運営協力: 東京大学林政学研究室
事務局: 一般財団法人林業経済研究所

申込は、電話・FAX・E-mailのいずれかでお願
致します(下記連絡先まで)。その際、氏名、所属、
懇親会出欠の旨お知らせ下さい。

事務局・
お問い合わせ

一般財団法人 林業経済研究所 <http://www.foeri.org/>

〒113-0034 東京都文京区湯島1-12-6 高関ビル3A

TEL03-6379-5015 FAX03-6379-3210 E-mail:office@foeri.org